

2018年度 学校関係者による学校評価（外部評価）

A：達成できている B：ほぼ達成できている C：あまり達成できていない D：達成できていない

※評価は、評価者数が一番多い評価を学校関係者の評価としました。

		評価項目	評価	評価に関する説明および今後に向けての助言
本園の教育について	1	園の教育方針や教育内容、目標をわかりやすく伝えている	A	○教育方針・目標は明確で丁寧伝わっていると思われ、日頃の努力が伺われるが、加えて、保護者総会で文書を配布し、パワーポイントや映像を使って周知を図るとアピール度が高まると思われる。 ○保護者がモンテッソーリ教育や縦割り保育の良さを理解するには、時間がかかると思われるが、教職員が自信を持ち信じて進んでほしい。 ○カトリックの精神をもとに教職員はやさしさの中に強さも感じられる。『思いやる心』は、人として大切な部分であるので、子ども達とおしてまわりの大人にも伝えてほしい。
	2	園は教育目標に向かって努力している	A	
	3	園はカトリックの精神を基に、まわりの人を思いやる心の育成に努めている	A	
	4	聞く姿勢や自分で考えて行動できるような指導に力を入れている	A	
	5	教職員は一人ひとりの個性を大切に、適切な関わり方に努めている	A	
	6	園児は園生活のなかでお互いの良さや頑張りを認め合って生活している	A	
研究研修	7	園内外の研修に積極的に参加し、資質の向上を図っている	A	○保育のスキルアップは、保護者の安心感、信頼感を得るために、今後も続けてほしい。研修内容については参加教職員の感想や報告などを広く広報することでより理解が進むと思われる。 ○縦割り保育の教職員間の連携の難しさも考えられるが、互いを信じて更なる成長を期待する。
	8	目標達成に向け、各学年・学級間での連携、情報交換に努めている	A	
安全管理	9	防災防犯等の避難訓練の年間計画を立て、毎月実施している	A	○忘れたころにやってくる災害のためにも、毎月の避難訓練の実施は続けてほしい。 ○防犯、防災訓練については、新聞などメディアに広報すると記録もアピール度も高まる。 ○他園と比べて園児数が多いので、『保護者証明カード』は保護者間においても有効に作用すると思われることから、更なる継続を希望する。
	10	施設設備の安全点検を定期的に行い、危険の早期発見に努めている	A	
	11	不審者への対策が講じられている	A	

保健管理	1 2	手洗い、うがいなどの生活習慣の確立や生活のリズム、食事の大切さなど健康に関わる指導をしている	A	○手洗い、うがい、歯磨き、食事の様子など、保護者アンケートで把握してみるのも、意識を高めるきっかけになるのではないかと思います。 ○身体測定は保護者にとってわが子の体の成長が分かるので、楽しみの一つになっていると思う。
	1 3	健康診断や毎月の身体測定などで幼児の健康状況を把握し、情報を提供している	A	
預かり等	1 4	日々の預かり保育や長期預かり保育の内容充実に努めている	A	○需要の多い預かり保育は、保護者にとっては有難く、子ども達には積極性が高まっていると感じられ、得ることが大きい時間と考えられる。
家庭・地域との連携	1 5	未就園児教室や子育てセミナーを開催し、積極的に子育て支援を行っている	A	○セミナーは毎回、好評で講師の選定の上手い。保護者の信頼を得る機会なので続けてほしい。 ○情報量の多い今の時代で、園の努力は大変な負担と想像できる。内容が充実しており、発信はとても評価される。
	1 6	園便りやホームページなどをとおして、教育活動や園生活、園児の様子の情報発信に努めている	A	
施設設備	1 7	園は毎月の教職員の定期点検を確実に実施し、施設・設備の点検や補修・管理に努めている	A	○子ども達が安心して安全に遊べる施設管理は大切。台風が増えていることから事前の対策も重要になる。

## ■総合評価

評価	理由
A	<p>縦割り保育導入により、横割りの時と比べ、子どもと関わる教師が多くなったことで保護者がどの教師に相談するといいいのか不安になることもあるかと思われることから、少ない言葉でも、教師側から積極的に保護者に関わる雰囲気づくりも安心につながると思う。教育の成果は継続的に見ていると分かりにくい点があるので、年度初めと年度末などの変化を映像や学習発表の成果物の比較などで明確化できるのではないかとと思われる。</p> <p>日頃の保育や行事でも教職員の一生懸命な姿が良い印象である。保護者にどのように目に見える形で情報発信をしていくか考えると良いのではないかと思います。</p>

## ■改善すべき点及び今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理・対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ『保護者証明カード』が徹底されず、安全対策面で不安を感じている保護者もいることから、参観や懇談会など機会あるごとに身につけるよう声かけしていく。</li> <li>・門扉の開閉状態を教職員全員が常に意識し、開けっ放しにならないようにする。</li> </ul>

<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談が、誰に聞いても熱心に丁寧に対応できるようにする。</li> <li>・今年度より連絡帳を導入したが、保護者だけでなく、教職員もうまく使えていない状況がある。保護者の安心、信頼を得るための使い方を教職員全員で細やかに話し合う。</li> </ul>
<p>情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育ちの「見える化」の何をどのように伝えればよいかを考える。</li> <li>①保育者同士で語り合う中の単なる子どものエピソードを、子の「学び・育ちの物語」として発信する。</li> <li>②連絡帳の活用方法</li> <li>③個人面談の工夫</li> <li>④ホームページでの発信の工夫</li> </ul>